

(書式 2)

## 学会参加報告書

提出日 2018年 9月 30日

学籍番号	18pda09	学系	トレーニング科学系
氏名	山口 雄大		
学会等名 (正式名称)	International Society of Biomechanics in Sports		
開催日程	2018年 9月 10日 ~ 2018年 9月 14日		
開催場所 (国・都市名)	ニュージーランド・オークランド		
発表演題名	BRAKING FORCES DURING BICYCLE PEDALING: AN EXAMINATION OF THE FULL CRANK ROTATION		
参加報告 ・項目別に具体的に記載する。	<p>&lt;学会の全体の印象&gt; ISBS ニュージーランド大会は、口頭発表、ポスター発表、シンポジウム、企業プレゼンで構成されており、早朝から終了まで活発な討論がなされていた。本学会は長時間(約12時間)行う学会であったことから、常にニュージーランド産のフルーツが提供され、学会参加者はフルーツを食べながら和やかな雰囲気の中、活発に情報交換を行っていた。私は、ポスター発表へ奨励賞セッションのセミファイナリストとして参加した。同研究分野で活躍されている Walter Helzog 博士と討論できたことは、大きな収穫となった。</p> <p>&lt;自分の研究と関連した発表とその内容&gt; 題目「Pedal force direction control in cycling」 発表者：Walter Helzog 機械的有効性の高いペダリングを行かせた際の下肢筋活動を評価した。機械的有効性の高いペダリングを行かせたところ、筋活動パターンが変化したことから、生理学的な効率が低下することを示唆した。</p> <p>&lt;自身の発表への質問・コメント&gt; Q. この研究の意義について (モチベーション) A. 競技パフォーマンスの向上に資する知見をえること。 Q. 研究から得た知見を、競技者にはどのようなインストラクションを行うか A. 膝関節屈曲筋であるハムトリングを踏み込み局面で意識するように伝える。踏み込み局面でハムストリングを伸長させるイメージを持たせる。</p>		

※ 補助金を受けた学生はこの学会参加報告書を提出すること。

提出期限は学会終了後2週間以内とする。

本報告書は学会参加報告書として日本体育大学総合スポーツ科学研究センターホームページ内に掲載されます。